

セス、ツヒニ見佛聞法セサルニヨリテカクノコトシ、タトヒ佛所ニ詣セストイフトモ、諸大阿羅漢所
ニイタリテ教訓ヲウクヘシ、イタツラニ獨處スル増上慢ノアヤマリナリ、第二ニハ、初禪ヲエテ初果
トオモヒ、二禪ヲエテ第二果トオモヒ、三禪ヲエテ第三果トオモヒ、四禪ヲエテ第四果トオモフ、第
二ノアヤマリナリ、初二三禪ノ相ト、初二三果ノ相ト、比類ニオヨハス、タトルコトアラシヤ、コレ
無聞ノトガニヨレリ、師ニツカヘス、クラキニヨレルトカナリ、

優婆塞多弟子中、有一比丘、信心出家、獲得四禪、謂爲四果、恣多方便、令往他處、於路化作群
賊、復化作五百買客、賊劫買客、殺害狼藉、比丘見生悼、即便自念、我非羅漢、應是第三果、買客
亡後、有長者女、語比丘言、唯願大德、與我共去、比丘答言、佛不許我與女人行、女言、我望大德
而隨其後、比丘憐愍、相望而行、尊者次復變作大河、女人言、大德、可共我度、比丘在下流、女在
上流、女便墮水、自言、大德濟我、爾時比丘手接而出、生細滑想、起愛欲心、即自知非阿那含、於
此女人、極生愛著、將向屏處、欲共交通、方見是師、生大慚愧、低頭而立、尊者語言、汝曾自謂是
阿羅漢、云何欲爲如此惡事、將至僧中、教其懺悔、爲說法要、得阿羅漢、
コノ比丘、ハシメ生見
ノアヤマリアレトモ、殺害ノ狼藉ヲミルニオソレヲ生ス、トキニワレ羅漢ニアラストオモフ、ナホ第
三果ナルヘシトオモフアヤマリアリ、ノチニ細滑ノ想ニヨリテ愛欲ノ心ヲ生スルニ、阿那含ニアラス
トシル、サラニ謗佛ノオモヒヲ生セス、謗法ノオモヒナシ、聖教ニソムクオモヒニアラス、四禪比丘

秘本行ノ下
ニ女音ノ二
字ナク
我ノ下ニ望
ノ字ナシ
秘本欲ノ下
ニ心ノ字ナ
ク
即ノ下ニ便
ノ字アリ
秘本モノ字
ナシ

ニハヒトシカラス、コノ比丘ハ、聖教ヲ習學セルチカラアルニヨリテ、ミツカラ阿羅漢ニアラス、阿
那含ニアラストシルナリ、イマノ無聞ノトモカラハ、阿羅漢ハイカナリトモシラス、佛ハイカナリト
モシラサルカユエニ、ミツカラ阿羅漢ニアラス、佛ニアラストモシラス、ミタリニワレハ佛ナリトノ
ミオモヒイフハ、オホイナルアヤマリナリ、フカキトカナルヘシ、學者マツスヘカラク佛ハイカナル
ヘシトナラフヘキナリ、

古德曰、故知習聖教者、薄知次位、縱生途蓋、亦易開解、マコトナルカナ古德ノ語、タトヒ生見ノ
アヤマリアリトモ、スコシキモ佛法ヲ習學セラントモカラハ、ミツカラニモ欺誑セラレシ、佗人ニモ
欺誑セラレシ、

會聞有人自謂成佛、待天不曉、謂爲魔障、曉己不見、梵王請說法、自知非佛、自謂是阿羅漢、又
被佗人罵之、心生異念、自知非是阿羅漢、仍謂是第三果也、又見女人起欲、想知非聖人、此亦
良由、知教相、故、乃如是也、ソレ佛法ヲシレルハ、カクノコトクミツカラカ非ヲ覺知シ、ハヤクアヤ
マリヲナケスツ、シラサルトモカラハ、一生ムナシク愚蒙ノナカニアリ、生ヨリ生ヲウクルモマタカ
クノコトクナルヘシ、コノ優婆塞多ノ弟子ハ、四禪ヲエテ四果トオモフトイヘトモ、サラニ我非羅漢
ノ智アリ、無聞比丘モ、臨命終トキ、四禪ノ中陰ミユルコトアランニ、我非羅漢トシラハ、謗佛ノ
罪アルヘカラス、イハシヤ四禪ヲエテノチヒサシ、ナンソ四果ニアラストカヘリミシラサラン、スタ

秘本ニ故知
ノ二字ナシ

ヒサシク一
本ヒトリニ
作ル
一本シノ下
ニテノ字ア

ニ四果ニアラストシラハ、ナンソアラタメサラン、イタツラニ僻計ニトコホリ、ムナシク邪見ニシ
ツメリ、第三ニハ、命終ノトキオホキナルアヤマリアリ、ソノトカフカクシテ、ツヒニ阿鼻地獄ニオ
チヌルナリ、タトヒナンチ一生ノアヒタ、四禪ヲ四果トオモヒキタレリトモ、臨命終ノトキ、四禪ノ
中陰ミユルコトアラハ、一生ノアヤマリヲ懺悔シテ、四果ニハアラサリキトオモフヘシ、イカテカ佛
ワレヲ欺誑シテ、涅槃ナキニ涅槃アリト施設セサセタマフトオモフヘキ、コレ無聞ノトカナリ、コノ
ツミステニ謗佛ナリ、コレニヨリテ阿鼻ノ中陰現シテ、命終シテ阿鼻地獄ニオチヌ、タトヒ四果ノ聖
者ナリトモ、イカテカ如來ニオヨハン、舍利弗ハヒサシクコレ四果ノ聖者ナリ、三千大千世界所有ノ
智慧ヲアツメテ、如來ヲノソキタテマツリテ、ホカヲ一分トシ、舍利弗ノ智慧ヲ十六分ニセル一分ト、
三千大千世界所有ノ智慧トヲ格量スルニ、舍利弗ノ十六分ノ一分ニオヨハサルナリ、シカアレトモ如
來未曾説ノ法ヲトキマシマヌキキテ、前後ノ佛説コトニシテワレヲ欺誑シマヌトオモハス、波
旬無此事トホメタテマツル、如來ハ福増ヲワタシ、舍利弗ハ福増ヲワタサス、四果ト佛果ト、ハルカ
ニコトナルコトカクノコトシ、タトヒ舍利弗オヨヒモロモロノ弟子ノコトクナラン、十方界ニミチミ
テラン、トモニ佛智ヲ測量センコトウヘカラス、孔老ニカクノコトクノ功德、イマタナシ、佛法ヲ習
學センモノ、タレカ孔老ヲ測度セサラン、孔老ヲ習學スルモノ、佛法ヲ測量スルコト、イマタナシ、
イマ大宋國ノトモカラオホク孔老ト佛道ト一致ノ道理ヲタツ、僻見モトモフカキモノナリ、シモニマ

秘本ニ道ノ
字ナシ

サニ廣説スヘシ、四禪比丘、ミツカラス僻見ヲマコトトシテ、如來ノ欺誑シマヌトオモフ、ナカ
ク佛道ヲ違背シタテマツルナリ、愚癡ノハナハタシキ、六師等ニヒトシカルヘシ、
古徳曰、大師在世、尙有僻計生見之人、況滅度後、無師不得禪者、イマ大師トハ、佛世尊ナリ、
マコトニ世尊在世出家受具セル、ナホ無聞ニヨリテハ、僻計生見ノアヤマリノカレカタシ、イハンヤ
如來滅後五百歳、邊地下賤ノ時處、アヤマリナカラシヤ、四禪ヲ發セルモノ、ナホカクノコトシ、
イハンヤ四禪ヲ發スルニオヨハス、イタツラニ貪名愛利ニシツメランモノ、官途世路ヲムサホルトモ
カラ、不足言ナルヘシ、イマ大宋國ニ寡聞愚鈍ノトモカラオホシ、カレラガイハク、佛法ト孔子老子
ノ法ト一致ニシテ異聲ニアラス、

秘本ハ下ノ
足テ也ニ作

大宋嘉泰中、有僧正受選進普燈錄三十卷、曰、臣聞孤出智圓之言、曰、吾道如鼎也、三教如足、
足一虧而鼎覆焉、臣嘗慕其人、稽其説、乃知儒之爲教、其要在誠意、道之爲教、其要在虚心、釋
之爲教、其要在見性、誠意也、虚心也、見性也、異名同體、究厥厥、攸歸、無適而不與、此道會、云云、
カクメコトク僻計生見ノトモカラノミオホシ、智圓正受ノミニハアラス、コノトモカラハ四禪ヲエテ
四果トオモハンヨリモ、ソノアヤマリフカシ、謗佛謗法謗僧ナルヘシ、ステニ撥無解脫ナリ、撥無三
世ナリ、撥無因果ナリ、莽莽蕩蕩招殃禍ウタカヒナシ、三寶四諦四沙門果ナシトオモヒシトモカラニ
ヒトシ、佛法イマタ其要見性ニアラス、七佛、西天二十八祖、イツレノトコロカ佛法タ見性ノミナ

ルトアル、六祖壇經ニ見性ノ言アリ、カノ書コレ偽書ナリ、付法藏ノ書ニアラス、曹谿ノ言句ニアラス、佛祖ノ兒孫、マタク依用セサル書ナリ、正受、智圓、イマタ佛法ノ一隅ヲシラサルニヨリテ、一鼎三足ノ邪見ヲナス、

古徳曰、老子莊子尙自未識小乘能著所著、能破所破、況大乘中、若著若破、是故不與佛法少同然者、世間愚者、迷於名相、濫禪者、惑於正理、欲將道德逍遙之名、齊於佛法解脱之說、豈可得乎、ムカシヨリ名相ニマヨフモノ、正理ヲシラサルトモカラ、佛法ヲモテ莊子老子ニヒトシムルナリ、イササカモ佛法ノ稽古アルトモカラハ、ムカシヨリ莊子老子ヲオモクスル、一人ナシ、清淨法行經曰、月光菩薩、彼稱顏回光淨菩薩、彼稱仲尼迦葉菩薩、彼稱老子云云、ムカシヨリコノ經ノ說ヲ擧シテ、孔子老子等モ菩薩ナレハ、ソノ說ヒソカニ佛說ニオナシカルヘシ、イトトマタ佛ノツカヒナラン、ソノ說オノツカラ佛說ナラントイフ、コノ說ミナ非ナリ、古徳曰、準諸目錄此推此經以爲疑偽云云、イマコノ說ニヨラハ、イヨイヨ佛法ト孔老トコトナルヘシ、ステニコレ菩薩ナリ、佛果ニヒトシカルヘカラス、マタ和光應迹ノ功徳ハ、ヒトリ三世諸佛菩薩ノ法ナリ、俗塵凡夫ノ所能ニアラス、實業ノ凡夫、イカテカ應迹ニ自在アラン、孔子イマタ應迹ノ說ナシ、イハンヤ孔老ハ先因ヲシラス、當果ヲトカス、ワツカニ一世ノ忠孝ヲモテ、キミニツカヘ家ヲサムル術ヲムネトスルナリ、サラニ後世ノ說ナシ、ステニコレ斷見ノ流類ナルヘシ、莊老ヲキラフニ小乗ナホシラス、

イハンヤ大乘ヲヤトイフハ、上古ノ明師ナリ、三教一致トイフハ、智圓正受ナリ、後代澆季愚闇ノ凡夫ナリ、ナンチナンノ勝出アレハカ、上古ノ先徳ノ所說ヲサミシテ、ミタリニ佛法ト孔老トヒトシカルヘシトイフ、ナンタチカ所見スヘテ佛法ノ通塞ヲ論スルニタヘス、負笈シテ明師ニ參學スベシ、智圓正受ナンチラ大小兩乘スヘテイマタシラサルナリ、四禪ヲエテ四果トオモヒシヨリモクラシ、カナシムヘシ澆風ノアフクトコロ、カクノコトクノ魔子オホカルコトヲ、

古徳曰、如孔丘姬旦之語、三皇五帝之書、孝以治家、忠以治國、輔以利民、只是一世之内、不渡過未、未齊佛法之益、於三世豈不謬乎、マコトナルカナ古徳ノ語、ヨク佛法ノ至理ニ迷セリ、世俗ノ道理ニアキラカナリ、三皇、五帝ノ語、イマタ轉輪聖王ノヲシヘニオヨフヘカラス、梵王、帝釋ノ說ニナラハ論スヘカラス、統領スルトコロ所得ノ果報、ハルカニ劣ナルヘシ、輪王、梵王、帝釋、ナホ出家受具ノ比丘ニオヨハス、イカニイハンヤ如來ニヒトシカラシヤ、孔丘姬旦ノ書、マタ天竺ノ十八大經ニオヨフヘカラス、四韋陀ノ典籍ニナラヘカタシ、西天婆羅門教、イマタ佛教ニヒトシカラサルナリ、ナホ小乘聲聞教ニヒトシカラス、アハレムヘシ震旦小國邊方ニシテ三教一致ノ邪說アルコトヲ、

第十四祖龍樹菩薩曰、大阿羅漢辟支佛、知八万大劫諸大菩薩、及知無量劫、孔老等イマタ一世ノツチノ前後ヲシラス、一生二生ノ宿通アランヤ、イカニイハンヤ一劫ヲシランヤ、イカニイハ

シヤ百劫千劫ヲシランヤ、イカニイハンヤ八万大劫ヲシランヤ、イカニイハンヤ無量劫ヲシランヤ、
コノ無量劫ヲアキラカニチラシレルコト、タナココロヲミルヨリモアキラカナル諸佛菩薩ヲ、孔老
等ニ比類セン、愚闇トイフニモタラサルナリ、ミミヲオホフテ三教一致ノ言ヲキクコトナカレ、邪說
中最邪說ナリ、

莊子曰、貴賤苦樂、是非得失、皆是自然、コノ見ステニ西國ノ自然見ノ外道ノ流類ナリ、貴賤苦樂是
非得失、ミナコレ善惡業ノ感スルトコロナリ、滿業引業ヲシラス、過去來世ヲアキラメサルカユエ
ニ、現在ニクラシ、イカテカ佛法ニヒトシカラン、アルカイハク、諸佛如來、ヒロク法界ヲ證スルユ
エニ、微塵法界、ミナ諸佛ノ所證ナリ、シカアレハ依正二報トモニ如來ノ所說トナリヌルカユエニ、
山河大地、日月星辰、四倒三毒、ミナ如來ノ所說ナリ、山河ヲミルハ、如來ヲミルナリ、三毒四倒、
佛法ニアラストイフコトナシ、微塵ヲミルハ法界ヲミルニヒトシ、造次顛沛ミナ三菩提ナリコレヲ大
解脱トイフ、コレヲ單傳直指ノ祖道トナツク、カクノコトクイフトモカラ、稻麻竹葦ノコトク、朝野
ニ徧滿セリ、シカアレトモコトモカラ、タレ人ノ兒孫トイフコトアキラカナラス、スヘテ佛祖ノ道
ヲシラサルナリ、タトヒ諸佛ノ所說トナルトモ、山河大地タチマチニ凡夫ノ所見ナカルヘキニアラ
ス、諸佛ノ所說トナル道理ヲナラハスキカサルナリ、ナンチ微塵ヲミルハ法界ヲミルニヒトシトイフ、
タミノ王ニヒトシトイハンカコトシ、マタナンソ法界ヲミテ微塵ニヒトシトイハサル、コノトモカラ

去一本世ニ
作ル

ナカル一本
ナルニ作ル

義一本儀ニ
作ル

ノ所見ヲ佛祖ノ大道トヒハ、諸佛出世スヘカラス、祖師出現スヘカラス、衆生得道スヘカラサルナリ、
タトヒ生即無生ト體達ストモ、コノ道理ニアラス、
眞諦三藏云、震旦有二福、一無羅刹、二無外道、コノコトハ、マコトニ西國ノ外道婆羅門ノ傳來
セルナリ、得道ノ外道ナシトイフトモ、外道ノ見ヲオコストモカラナカルヘキニアラス、羅刹ハイマ
タミエス、外道ノ流類ハナキニアラス、小國邊地ノユエニ、中印度ノコトクニアラサルコトハ、佛法
モワツカニ修習ストイヘトモ、印度ノコトクニ證ヲトレルナシ、

古徳曰、今時多有遺俗者、畏憚王役入外道中、偷佛法義、竊解莊老、遂成混雜、迷惑初心、執正
執邪、是爲發得韋陀法之見、シルヘシ佛法ト莊老ト、イツレカ正イツレカ邪ヲシラス混雜スルハ、
初心ノトモカラヲ迷惑スル、イマノ智圓正受等コレナリ、タタ愚昧ノハナハタシキノミニアラス、稽
古ナキノイタリ、顯然ナリ炳焉ナリ、近日宋朝ノ僧徒、ヒトリトシテモ孔老ハ佛法ニオヨハストシレ
ルトモカラナシ、ナホ佛祖ノ兒孫ニナレルトモカラ、稻麻竹葦ノコトク、九州ノ山野ニミテリトイフ
トモ、孔老ノホカニ佛法スクレイテタリト、曉了セル、一人半人アラス、ヒトリ先祖天童古佛ノミ、
佛法ト孔老トヒトツニアラスト曉了セリ、晝夜ニ施設セリ、經論師マタ講者ノ名アレトモ、佛法ハル
カニ孔老ノ邊ヲ勝出セリト曉了セルナシ、近代一百年來ノ講者、オホク參禪學道ノトモカラノ儀ヲマ
ナヒ、ソノ解會ヲススマントス、モトモアヤマレトイフヘシ、孔子ノ書ニ生知者アリ、佛教ニハ生

知者ナシ、佛法ニハ舍利ノ説アリ、孔老舍利ノ有無ヲシラス、一ニシテ混雜セントオモフトモ、廣説ノ通塞ツヒニ不得ナラン、論語云、生而知之上、學而知者次、困而學之、又其次也、困而不學、民斯爲下矣、モシ生知アラハ、無因ノトガアリ、佛法ニハ無因ノ説ナシ、四禪比丘ハ、臨命終ノトキ、タチマチニ謗佛ノツミニ墮ス、佛法ヲモテ孔老ノ教ニヒトシトオモハン、一生ノウチヨリ謗佛ノツミフカカルヘシ、學者ハヤク佛法ト孔老ト一致ナリト邪計スル解ヲナケスツヘシ、コノ見タクハヘテステスハ、ツヒニ惡趣ニ墮スヘシ、學者アキラカニシルヘシ孔老ハ三世ノ法ヲシラズ、因果ノ道理ヲシラス、一洲ノ安立ヲシラス、イハンヤ四洲ノ安立ヲシランヤ、六天ノコトナホシラス、イハンヤ三界九地ノ法ヲシランヤ、小千界ヲシラス、中千界ヲシルヘカラス、三千大千世界ヲミルコトアランヤ、シルコトアランヤ震旦一國ニナホ小臣ニシテ、帝位ニノホラス、三千大千世界ニ王タル如來ニ比スヘカラス、如來ハ、梵天、帝釋、轉輪聖王等、晝夜ニ恭敬侍衛シ、恒時ニ説法ヲ請シタマツル、孔老ニカクノコトクノ徳ナシ、タタコレ流轉ノ凡夫ナリ、イマタ出離解脱ノ道ヲシラス、イカチカ如來ノコトク諸法實相ヲ究盡スルコトアラン、モシイマタ究盡セスハ、ナニニヨリテカ世尊ニヒトシトセン、孔老内徳ナシ、外用ナシ、世尊ニオヨフヘカラス、三教一致ノ邪説ヲハカンヤ、孔老、世界ノ有邊際無邊際ヲ通達スヘカラス、廣ヲミスシラス、大ヲシラスミサルノミニアラス、極微色ヲミス、刹那量ヲシルヘカラス、世尊アキラカニ極微色ヲ刹那量ヲシラセタマフ、イカニシテカ孔老ニヒトシメタ

ハ一本ルニ
作ル

テマツラン、孔、老、莊子、惠子等ハ、タタコレ凡夫ナリ、ナホ小乘ノ須陀洹ニオヨフヘカラス、イカニイハンヤ、第二第三第四ノ阿難漢ニオヨハンヤ、シカアルヲ學者クラキニヨリテ、諸佛ニヒトシムル、迷中又深迷ナリ、孔老ハ三世ヲシラス、多劫ヲシラサルノミニアラス、一念シルヘカラス、一心シルヘカラス、ナホ日月天ニ比スヘカラス、四大王、衆天ニオヨフヘカラサルナリ、世尊ニ比セハ、世間、出世間ニ迷惑スルナリ、列傳云、周爲周大夫善星象、因見異氣、而東迎之、果得老子、請著書五千有言、喜欲從聃求去、聃云、若欲志心求去、當將父母等七人頭來、乃可得去、喜乃從教、七頭皆變豬頭、古徳云、然俗典孝儒尙尊木像、老聃設化、令喜害親、如來教門、大慈爲本、如何老氏逆爲化原、ムカシハ老聃ヲモテ世尊ニヒトシムル邪黨アリ、イマハ孔老トモニ世尊ニヒトシントイフ愚侶アリ、アハレマサラメヤハ、孔老ナホ轉輪聖王ノ十善ヲモテ世間ヲ化スルニオヨフヘカラス、三皇五帝イカチカ金銀銅鐵諸轉輪王ノ七寶千子具足シテ、アルヒハ四天下ヲ化シ、アルヒハ三千界ヲ領セルニオヨハン、孔老ハイマタコレニモ比スヘカラス、過現當來ノ諸佛諸祖、トモニ父母師僧三寶ニ孝順シ、病人等ヲ供養スルヲ化原トセリ、害親ヲ化原トセル、イマタムカシヨリアラサルトコロナリ、シカアレハスナハチ老聃ト佛法ト、ヒトツニアラス、父母殺害スルハ、カナラス順次生業ニシテ、泥梨ニ墮スルコト必定ナリ、タトヒ老聃ミタリニ虛無ヲ談スルトモ、父母ヲ害センモノ生報ヲマヌカレサラン、

一本ナラノ
下ニスノ字
アシ

傳燈錄云、二祖每歎云、孔老之教、禮術風規、莊易之書、未盡妙理、近聞達磨大士、住止少林、至人不遙、當造玄境、イマノトモカラ、アキラカニ信スヘシ、佛法ヲ振且ニ正傳セルコトハ、タタヒトヘニ二祖參學ノチカラナリ、初祖タトヒ西來セリトモ二祖ヲエスハ、佛法ツタハレサラン、二祖モレ佛法ヲツタヘスハ、東地イマニ佛法ナカラン、オホヨソニ祖ハ餘輩ニ群スヘカラス、傳燈錄云、僧神光者、曠達士、久居伊洛、博覽群書、善談玄理、ムカシニ祖ノ群書ヲ博覽スルト、イマノ人書卷ヲミルト、ハルカニコトナルヘシ、得法傳衣ノノチモ、ムカシクレ孔老之教、禮術風規トオモヒシハ、アヤマリナリトシメスコトバナシ、シルヘシニ祖ステニ孔老ハ佛法ニオヨフコトアラスト通達セリ、イマノ遠孫、ナニトシテカ祖父ニ違背シテ、佛法ト一致ナリトイフヤ、マサニシルヘシ邪說ナリト、二祖ノ遠孫ニテアラスハ、正受等ガ説タレカモチキン、二祖ノ兒孫タルヘクハ、三教一致トイフコトナカレ、

如來在世有外道名論力、自謂論議無學等者、其力最大、故曰論力、受五百梨昌、撰五百明難、來難世尊、來至佛所、而奉問佛云、爲一究竟道、爲衆多究竟道、佛言、唯一究竟道、論力云、我等諸師、各說有究竟道、以外道中各自謂是、毀譽佗法、互相是非、故有多道、世尊其時已化鹿頭、成無學果、在佛邊立、佛問論力、衆多道中、誰爲第一、論力云、鹿頭第一也、佛言、其若第一云、何捨其道、爲我弟子、入我道中、論力見既慚愧低頭、歸依入道、是時佛說義品偈曰、各各謂究

大論知、智
ニ作リ明チ
勝ニ作ル
一本スナノ
上ニコレノ
二字アリ

竟、而各自愛著、各是自非佗、是皆非究竟、是人入論衆、辨明義、涅槃、各各相是非、勝負、懷憂喜、勝者墮慢坑、負者墮憂獄、是故有智者、不墮此二法、論力汝當知、我諸弟子法、無虛亦無實、汝欲何處求、汝欲壞我論、終已無此處、一切知、難明、還是自毀壞、イマ世尊ノ金言ソレカクノコトシ、東土愚暗ノ衆生、ミタリニ佛教ニ違背シテ、佛道トヒトシキ道アリトイフコトナカレ、スナハチ佛謗法トナルヘキナリ、西天ノ鹿頭、並論力、乃至長爪梵志、先尼梵志等ハ、博學ノ人タリ、東土ニムカシヨリイマタナシ、孔老サラニオヨフヘカラサルナリ、コレラミナミツカラカ道ヲステテ、佛道ニ歸依ス、イマ孔老ノ俗人ヲモテ、佛法ニ比類センハ、キカンモノモツミアルヘシ、イハンヤ阿羅漢辟支佛モ、ミナツヒニ菩薩トナル、一人トシテモ小乘ニシテハ、ハルモノナシ、イカテカイマタ佛道ニイラサル孔老ヲ諸佛ニヒトシトイハンヤ、大邪見ナルヘシ、オホヨソ如來世尊、ハルカニ一切ヲ超越シマシマスコト、スナハチ諸佛如來、諸大菩薩、梵天帝釋、ミナトモニホメタテマツリ、シリタテマツレルトコロナリ、西天二十八祖、トモニシレルトコロナリ、オホヨソ參學ノチカラアルモノ、ミナトモニシレリ、イマ澆運ノ衆生、宋朝愚暗ノトモカラノ、三教一致ノ狂言モチキルヘカラス、不學ノイタリナリ、

正法眼藏四禪比丘

建長七年乙卯夏安居日以御草案本書寫畢

懷 非

正法眼藏唯佛與佛

佛法ハ、人ノシルヘキニハアラス、コノユエニムカシヨリ凡夫トシテ佛法ヲサトルナシ、二乗トシテ
 佛法ヲキハムルナシ、ヒトリ佛ニサトラルルユエニ唯佛與佛、乃能究盡トイフ、ソレヲキハメサルト
 キ、ワレナカラモカ子テヨリサトリトハカクコソアラメトオモハルルコトハナキナリ、タトヒオボユ
 レトモソノオホユルニタカハヌサトリニテナキナリ、サトリモオボエシカコトクニテモナシ、カクア
 レハ、カ子テオモフソノ用ニタツヘキニアラス、サトリヌルヲリハ、イカニアリケルユエニ、サトリ
 タリトオホエヌナリ、コレニテカヘリミルヘシ、サトリヨリサキニトカクオモヒケルハ、サトリノ用
 ニアラスト、サキノサマサマオモフ、オモヒノヤウニアラサリケルハ、オモヒノマコトニアシクテ、
 ソノチカラノナキニテハナシ、コシカタノオモヒモサナカラサトリニテアリケルヲ、ソノヲリハ、サ
 カサマニセントシケルユエニ、チカラノナキトハオモヒモイヒモスルナリ、用ニアラストオホユルコ
 トハシルヘキトコロカナラスアリ、イハユルチヒサクハナラシトオソレケル、モシサトリヨリサキノ
 オモヒヲチカラトシテ、サトリノイテコンハ、タノモシカラヌサトリニテアリヌヘシ、サトリヨリサ
 キニチカラトセス、ハルカニコエテキタレルユエニ、サトリトハヒトスチニサトリノチカラニノミタ
 スケラル、マトヒハナキモノソトモシルヘシ、サトリハナキコトソトモシルヘシ、無上菩提ノ人ニテ
 アルヲリ、コレヲホトケトイフ、ホトケノ無上菩提ニテアルトキ、コレヲ無上菩提トイフ、コノ道ニ

アルトキノ面目シラサランハ、オロカナリヌヘシ、イハユルソノ面目ハ、不染汚ナリ、不染汚トハ、起向ナク取舍ナカラントシヒテイトナミ、趣向ニアラサラントコロツクロヒスルニハアラヌナリ、イカニモ趣向セラレス、取舍セラレス、不染汚ノアルナリ、タトヘハ人ニアフニ面目ノイカヤウナルトオホエ、又華ニモ月ニモイマヒトツノ光色ヲオモヒカサテ、又春ハタタ春ナカラノココロ、秋モマタ秋ナカラノ美惡ニテ、ノカルヘキニアラヌヲ、ワレニアラサラントスルニハ、ワレナルニテモオモヒシルヘシ、コノハルアキノコエワレナラントスルニモ、ワレニアラサルニテモカヘリミルヘシ、ワレニツモレルニテモナシ、イマモワレニアルオモヒニテモナキナリ、ソノココロハ、イマノ四天五蘊、オノオノワレトスヘキニテモアラス、タレトタドルヘカラス、シカアレハ華月ノモヨホス心ノイロ、マタ我トスヘキニアラヌヲワレトオモフ、ワレニアラヌヲワレトオモフモ、サモアラハアレ、ソムクヘキカタノイロモ、オモムクヘキカタノソメラレスヘキモナシトテラストキ、オノツカラ道ニアル行履モカクレサリケル本来ノ面目ナリ、フルキ人ノイハク、盡大地コレ自己ノ法身ニテアレトモ、法身ニサヘラレサルヘシ、モシ法身ニサヘラレルニハ、イササカ身ヲ轉セントスルニモカナハス、出身ノ道アルヘシ、イカナルカコレ諸人ノ出身ノ道ト、モシコノ出身ノミチヲイハサランモノハ、法身ノイノチモタチマチニタエテ、ナカク苦海ニシツミスヘシ、カクノコトクトハンニ、イカニトイハンカ、法身ヲモイケ、苦海ニモシツマサルヘキト、コノトキイフヘシ盡大地自己ノ法身ナリト、モシコノ道

理ニテアラン、盡大地自己ノ法身トイフヲリハイハレヌ、マタイハレナラントキ、フツトイハヌトヤココロウヘキ、イハヌ古佛ノイヘルコトアリ、死ノナカニイケルコトアリ、イケルナカニ死セルコトアリ、死セルカツテニ死セルアリ、イケルカツテニイケルアリ、コレ人ノシヒテシカアラシムルニアラス、法ノカクノコトクナルナリ、シカアレハ法輪ヲ轉スルヲリモ、カクノコトクノヒカリアリ、コエアリ、現身度生ニモシカアリトシルヘシ、コレヲ無生ノ知見トハイフ、現身度生トハ、度生現身ニテアリケルナリ、度ニムカヒテ現ヲタトラス、現ヲミルニ度ヲアヤシムコトナカルヘシ、コノ度ニ佛法ハキハメツクセリトココロウヘシ、トクヘシ證スヘシ、現ニモ身ニモ度ノコトクニアリケルトキクナリ、トクナリ、コレモ現身度生ノシカアラシメケルトナリ、コノムチヲ證シケルニソ、得道ノアシタヨリ、涅槃ノユフヘニイタルマテ、一字ヲモトカサリケルトモトカルル、コトハノ自在ナリケル、古佛イハク、盡大地是眞實人體ナリ、盡大地是解脱門ナリ、盡大地是毗盧一隻眼ナリ、盡大地是自己法身ナリ、イハユルココロハ眞實トハ、マコトノ身トナリ、盡大地ヲワレラカカリニアラサリケルマコトシキ身ニテアリケルトハシルヘシ、ヒゴロハナニトシテカシラサリケルトトフ人アラハ、盡大地是眞實人體トイヒツルコトヲワレニカヘセトイフヘシ、マタ盡大地是眞實人體トハ、カクノコトクシルトモイフヘシ、マタ盡大地是解脱門トハ、イカニモマツハレカカフルコトナキニナツクルナリ、盡大地ノコトバハ、トキニモトシニモココロニモコトハニモシタシクシテ、ヒマナク親密ナリ、カギリ

ナク、ホトリナキヲ、盡大地トイフヘキナリ、コノ解脱門ニイランコトヲモトメ、イテンコトヲモト
 メンニ、マタウヘカラサルナリ、ナニトシテカクノコトクナル、發問ヲカヘリミルハシ、アラストコ
 ロヲタツチハヤトオモハンニモ、カナフヘカラサルモノナリ、マタ盡大地ハコレ毗盧ノヒトツノマナ
 コナリトハ、佛ハヒトツノマナコトイヘル、カナラスシモ人ノマナコノヤウニアランスルトハオモハ
 サレ、人ニモ目コソハフタツモアレ、マナコヲイフトキハ人眼トハカリイヒテ、フタツトモミツトモ
 イハヌナリ、教ヲマナフモノノ、佛眼トイヒ、法眼トイヒ、天眼ナトトイフモ、目ニテアリトハナラ
 ハヌナリ、目ノヤウニアラントシレルヲハハカナキトイフ、イマハタタ佛ノ眼ヒトツニテ盡大地アリ
 ケルトキクヘシ、千眼モアレ、万眼モアレ、マツシハラク盡大地ガソノナカノヒトツニテアルトナリ、
 カクオホカルナカニ、ヒトツントイフモトガナシ、マタ佛ニハタタマナコハヒトツノミアリトシルモ
 アヤマラス、マナコハサマサマアルヘキソカシ、ミツアルモアリ、千眼アルモアリ、八万四千アリト
 イフコトモアレハ、マナコノカクノコトクナリトキキテ、耳ヲオトロカサルヘシ、マタ盡大地ハミツ
 カラ法身ナリトキクヘシ、ミツカラヲシランコトヲモトムルハ、イケルモノノサタマレル心ナリ、シ
 カアレトモマナコノミツカラヲハミルモノマレナリ、ヒトリ佛ノミコレヲシレリソノホカノ外道等ハ、
 イタツラニアラヌヲノミワレトオモフナリ、佛ノイフミツカラハスナハチ盡大地ニテアルナリ、シカ
 アレハミツカラトシルモシラスモ、ミナトモニオノレニアラス盡大地ハナシコノトキノコトハカノト

キノ人ニユツルヘシ、ムカシ僧アリテ古徳ニトフ、百千万境一時ニキタラントキイカカスヘキ、古徳
 イハク、莫管佗、イフココロハキタランコトハサモアラハアレ、トモカクモウコカスヘカラストナリ、
 コレスミヤカナル佛法ニテアリ境ニテハナシ、コノコトハヲハ、烟滅トハココロウヘカラス、諸實ニ
 テアリトコロウヘシ、イカニモ管スルカトスレハ、管セラレサリケルナリ、フルキ佛ノイハク、山
 河大地ト諸人トオナシクウマレ、三世ノ諸佛ト諸人トオナシクオコナヒキタレリ、シカアレハスナハ
 チ一人ウマルヲリニ、山河大地ヲミルニ、コノ一人カウマレサリツルサキヨリアリケル山河大地ノ
 ウヘニ、イマヒトヘカサチテウマレイツルトミエス、シカアレハトテモマタフルキコトハノムナシカ
 ルヘキニハアラス、イカニカココロウヘキ、ココロエラレストテサシオクヘキニハアラチハ、カナラ
 スココロウヘシトオモフヘシ、ステニトケルコトハニテアレハキクヘシ、キキテハマタココロウヘキ
 ナリ、コレヲココロエンヤウハ、コノウマルル一人カカタヨリコノ生ヲタツスルニ、コノ生トイフコ
 トハイカニアルコトト、ハシメヲハリアキラメケル人ハタレソ、ヲハリモハシメモシラサレトモ、ウ
 マレキタレリ、ソレタタ山河大地ノキハモシラサレトモ、ココヲハミルコノトコロヲハフミアリクカ
 コトシ、生ノコトクニアラス山河大地ヨトウラムルオモヒナカレ、山河大地ヲヒトシキワカ生ナリト
 イヘリケリトアキラムヘシ、マタ三世諸佛ハ、ステニオコナヒテ道ヲモナリ、サトリモヲハレリ、コ
 ノ佛ト我トヒトシトハ、マタイカニカココロウヘキ、マツシハラク佛ノ行ヲココロウヘシ、佛ノ行ハ、

盡大地トオナシクオコナヒ、盡衆生トモニオコナフ、モシ盡一切ニアラスハ、イマタ佛ノ行ニテハナシ、シカアレハココロヲオコスヨリ、サトリヲウルニイタルマテ、カナラス盡大地ト、盡衆生ト、サトリモオコナヒモスルナリ、コレニイカニカウタカフオモヒモアルヘキニシラレヌオモヒモマシルニニタルヲアキラメントテ、カクノコトクノコエノキコユルモ、人ノヤウトハアヤシマサルヘシ、コレハココロウルヲシヘニテハ、三世ノ諸佛ノココロヲモオコシ、オコナフハカナラスワレラカ身心ヲハモラサヌコトハリノアルナリトシルヘシ、コレヲウタカヒオモフハ、ステニ三世ノ諸佛ヲソシルナリ、シツカニカヘリミレハ、ワレラカ身心ハ、マコトニ三世ノ諸佛トオナシクオコナヒケル道理アリ、發心シケル道理モアリヌヘクミユルナリ、コノ身心ノサキノチヲカヘリミテラセハ、タツヌヘキ人ノワレニアラス人ニアラサランニハ、ナニトトコホルトコロトシテカ、三世ニハヘタタレリトオモハン、コノオモヒドモ、シカシナカラワレニアラス、ナニトテカハマタ三世諸佛ノ本心ノ所行道ノトキヲハサヘントハスヘキ、シハラク道ハ知不知ニハアラヌトハナツクヘシ、アルキ人ノイハク、撲落モ佗物ニアラス、縱横コレ論ニアラス、山河オヨビ大地、スナハチ全諸法王身ナリ、イマノ人モムカシノ人ノイヘルカコトクナラフヘシ、ステニ法王ノ身ニテアリ、シカレハ撲落モコトナルモノニハアラサリケルトココロウル法王アリケル、コノココロハ、山ノ地ニアルカコトシ、地ノ山ヲノセテアルニニタリ、ココロウルニココロエサリツルヲリノキタリテ、ココロウルヲサマタケス、マタココロウルガコ

論、一本座
ニ作ル

一本法ノ下
ニニノ字ナ

本光云九漸
ハ猶ホ九漸
ノ如キ乎

コロエサリツルヲヤフルコトモナクシテ、シカモココロウルトココロエヌトノハルノココロアキノコエアリ、ソレヲモココロエサリツルハ、聲オホキニシテトキケル、ソノコエ耳ニイラス、耳コエノナカニアソヒアリケル、ココロウルハ、コエステニ耳ニイリテ三昧アラハルヲリニテアルヘシ、コノココロウルハチヒサク、ココロエヌハオホキニテアリケルトモオモハサルヘシ、ワタクシニオモヒエタルコトニハアラキハ、法王ノカクノコトクナリケルトシルヘシ、法王ノ身トハ、マナコモ身ノコトクニアリココロモ身トヒトシカルヘシ、ココロトミト、一毫ノヘタテナク全露ニテアルヘシ、光明ニモ説法ニモカミニイフカコトクニ法王身ニテアリト、ココロウルナリ、ムカシヨリイヘルコトアリ、イハユルウヲニアラサレハ、ウヲノココロヲシラス、トリニアラサレハ、鳥ノアトヲタツ子カタシ、コノコトワリヲモヨクシレル人マレナリ、人ノ魚ノココロヲシラヌト、人ノトリノココロヲシラヌトノミオモヘルハ、アシクシレリ、コレヲシルヤウハ、魚ト魚トハカナラスアヒタカヒニソノココロヲシルナリ、人ノヤウニナラヌコトハナクテ、龍門ヲサカノホラントオモフニモトモニシラレ、オナシクココロヲヒトツニスルナリ、九漸ヲシノクココロモカヨヒシラルナリ、コレヲウヲニアラスハシルコトナシ、マタ鳥ノ空ヲトヒヌルヲハ、イカニモユクケタモノハコノアキノアトヲシリ、コノアトヲミテタツヌルコトハ、夢ニモイマタオモヒヨラスサアリトシラキオモヒヨルタメシモナシ、シカアルヲ鳥ハヨクチヒサキ鳥ノイク百千ムラカレスキニケル、コレハオホキナル鳥ノイクツラミナミニサ

リキタニトヒニケルアトヨトカスカスニミルナリ、車ノアトノミチニノコリ、馬ノアトノクサニミユルヨリモカクレナシ、鳥ハ鳥ノアトヲミルナリ、コノコトワリハ佛ニモアリ、佛ノイクヨニオコナヒスキニケルヨトオモハレ、チヒサキ佛オホキナル佛、カスニモレスルカスナカラシルナリ、佛ニアラサルヲリハイカニモシラサルコトナリ、イカニシラサルソトイフ人モアリヌヘシ、佛ノマナコニラソノアトヲミルヘキカユエニ、佛ニアラヌハ佛ノマナコヲソナヘス、佛ノモノカソフルカスナリ、シラチハスヘテ佛ノミチノアトヲハタトリヌヘシ、コノアト、モシメニミエハ、佛ニテアルヤラント、アシノアトヲモタクラフヘシ、タクラフルトコロニ、佛ノアトモシラレ、佛ノアトノ長短モ淺深モシラレ、ワカアトノアキラメラルルコトハ、佛ノアトヲハカルヨリウルナリ、コノアトヲウルヲ佛法トハイフナルヘシ、

正法眼藏唯佛與佛

弘安十一年季春晦日於越州吉田縣志比庄吉祥山永平寺知實寮南軒書寫之

正法眼藏八大人覺

諸佛是大人也、大人之所覺知、所以稱八大人覺也、覺知此法、為涅槃因、我本師釋迦牟尼佛、入涅槃夜、最後之所說也、

一者少欲、於彼未得五欲法中、不廣追求、名為少欲、佛言、汝等比丘、當知多欲之人、多求利故、苦惱亦多、少欲之人、無求無欲、則無此患、直爾少欲、尚應修習、何況少欲能生諸功德、少欲之人、則無諂曲以求人意、亦復不為諸根所牽、行少欲者、心則坦然、無所憂畏、觸事有餘、常無不足、有少欲者、則有涅槃、是名少欲、

二者知足、已得法中、受取以限、稱曰知足、佛言、汝等比丘、若欲脫諸苦惱、當觀知足、知足之法、即是富樂安穩之處、知足之人、雖臥地上、猶為安樂、不知足者、雖處天堂、亦不稱意、不知足者、雖富而貧、知足之人、雖貧而富、不知足者、常為五欲所牽、為知足者之所憐慕、是名知足、

三者樂寂靜、離諸憒鬧、獨處空閑、名樂寂靜、佛言、汝等比丘、欲求寂靜、無為安樂、當離憒鬧、獨處間居、靜處之人、帝釋諸天所共敬重、是故當捨己眾、佗眾、空閑獨處、思滅苦本、若樂眾者、則受衆惱、譬如大樹衆鳥集之、則有枯折之患、世間縛著、沒於衆苦、譬如老象溺泥、不能自出、是名遠離、

四者勤精進、於諸善法、勤修無間、故云精進、精而不雜、進而不退、佛言、汝等比丘、若勤精進、

則事無難者、是故汝等當勤精進、譬如少水常流、即能穿石、若行者之心、數數懈廢、譬如積火未熱而息、雖欲得火、火難可得、是名精進。

五者不念、亦名守正念、守法不失、名為正念、亦名不念。佛言、汝等比丘、求善知識、求善護助、無如不念、若有不念者、諸煩惱賊、則不能入、是故汝等、當當攝念在心、若失念者、則失諸功德、若念力堅強、雖入五欲賊中、不為所害、譬如著鎧入陣、則無所畏、是名不念。

六者修禪定、任法不亂、名曰禪定。佛言、汝等比丘、若攝心者、心則在定、心在定故、能知世間生滅法相、是故汝等、當當精進、修習諸定、若得定者、心則不散、譬如借水之家、善治堤塘、行者亦爾、為智慧水故、善修禪定、令不漏失、是名為定。

七者修智慧、起聞思修證、為智慧。佛言、汝等比丘、若有智慧、則無負著、常自省察、不令有失、是則於我法中、能得解脫、若不爾者、既非道人、又非白衣、無所名也、實智慧者、則是度老病死海、堅牢船也、亦是無明黑暗大明燈也、一切病者之良藥也、伐煩惱樹之利斧也、是故汝等、當以聞思修慧、而自增益、若人有智慧之照、雖是肉眼、而是明見人也、是名智慧。

八者不戲論、證離分別、名不戲論、究竟實相、乃不戲論。佛言、汝等比丘、若種種戲論、其心則亂、雖復出家、猶未得脫、是故比丘、當急捨離亂心戲論、若汝欲得寂滅樂者、唯當善滅戲論之患、是名不戲論。コレ八大人覺ナリ、一一各具八、スナハチ六十四アルヘシ、ヒロクスルトキハ無量

ナルヘシ、零スレハ六十四ナリ、大師釋尊、最後之說、為大乘之所教誨、二月十五日夜半ノ極唱、コレヨリノチ、サラニ說法シマシマス、ツヒニ般涅槃シマシマス、

佛言、汝等比丘、當當一心勤求出道、一切世間動不動法、皆是敗壞不安之相、汝等且止、勿得復語、時將欲過、我欲滅度、是我最後之所教誨。コノユエニ如來ノ弟子ハ、カナラスコレヲ習學

シタテマツル、コレヲ修習セス、シラサランハ、佛弟子ニアラス、コレ如來ノ正法眼藏涅槃妙心ナリ、シカアルニイマシラサルモノハオホク、見聞セルコトアルモノハスクナキハ、魔嬖ニヨリテシラサルナリ、マタ宿殖善根ノスクナキ、キカス、ミス、ムカシ正法像法ノアヒタハ、佛弟子ミナコレヲシレリ、修習シ參學シキ、イマハ千比丘ノナカニ一兩箇ノ八大人覺シレルモノナシ、アハレムヘシ澆季ノ陵夷、タトフルニモノナシ、如來ノ正法、イマ大千ニ流布シテ、白法イマタ滅セサラントキ、イソキ習學スヘキナリ、緩怠ナルコトナカレ、佛法ニアヒタテマツルコト、無量劫ニモカタシ、人身ヲウルコトモ、マタカタシ、タトヒ人身ヲウクトイヘトモ、三洲ノ人身ヨシ、ソノナカニ南洲ノ人身スケタリ、見佛聞法、出家得道スルユエナリ、如來ノ般涅槃ヨリサキニサキタテテ死セルトモカラハ、コノ八大人覺ヲキカス、ナラハス、イマワレテ見聞シタテマツリ、習學シタテマツル、宿殖善根ノチカラナリ、イマ習學シテ生生ニ增長シ、カナラス無上菩提ニイタリ、衆生ノタメニコレヲトカンコト、釋迦牟尼佛ニヒトシクシテ、コトナルコトナカラン、

正法眼藏八大人覺

建長五年正月六日書于永平寺

如今建長七年乙卯解制之前日、合義演書記書寫畢、同一校之、右本 先師最後御病中之御草也、仰以前所撰假字正法眼藏等皆書改、並新草具、都慮一百卷、可撰之云云、既始草之御此卷、當十二也、此後御病漸漸重增、仍御草案等事即止也、所以此御草等 先師最後之教救也、我等不幸而不拜見一百卷之御草、尤所恨也、若奉戀慕 先師之人、必書此卷、而可護持之、此 釋尊最後之教救、且 先師最後之遺教也 懷非記之

正法眼藏 六尾

明治二十九年十二月一日印刷



明治二十九年十二月十日發行

東京麻布區北日下區町二番地

發行所 兒島碩風

東京芝區田村町一番地

印刷者 竹尾幸次

東京中橋區加賀町十四番地

發行所 國母社

東京芝區櫻田本町十四番地

印刷所 弘文舎

賣捌所 東京 明徳堂 東京 大坂 東京 海堂 東京 明徳堂 東京 大坂 東京 海堂

正法眼藏八大人覺

建長五年正月六日書于永平寺

如今建長七年乙卯解制之前日、令義演書記書寫畢、同一校之、石本。先師最後御病中
之御草也、仰以前所撰假字正法眼藏等皆書改、並新草具、都虛一百卷可撰之云云、既始
草之御此卷、當十二也、此後御病漸漸重增、仍御草案等事即止也、所以此御草等。先師
最後之教救也、我等不幸而不拜見一百卷之御草、尤所恨也、若奉懸慕。先師之人、必書
此卷、而可護持之、此。釋尊最後之教救、且。先師最後之遺教也。懷辨記之。

正法眼藏 大尾

明治二十九年十二月一日印刷

(正價五元四角)

明治二十九年十二月十日發行

東京麻布區北日下窪町二番地

發行所 兒島碩鳳

東京芝區田村町一番地

印刷者 竹尾幸次

東京々橋區加賀町十四番地

發行所 國母社

東京芝區櫻田本郷町十四番地

印刷所 弘文舎

賣捌所 東京 森江佐七 東京 鴻盟社
東京 明教社 東京 大坂 金尾書店
東京 東京堂 東京 東海堂

第二版出版 見本御望の方は郵
文學博士井上先生序 島田播根先生校閱
大内青樹先生校閱 兒島碩鳳師編纂

佛教字典

土佐産生紙摺和綴映入全巻紙數凡七百頁
定價金壹圓八拾錢 郵税金十二錢
本書は經典の專門語術語梵語等論
典中の歴史等に散見する佛語に至るまで初學の
の邦難凡一萬言を附す且一々其典據
を明示し引方は文選字引の如く
したり冠脊を以て引くの法なり例せば「浮
旁冠脊」は水扁七畫に「菩提」は艸冠
八畫に「般若」は舟扁四畫の下にあり此書一本
を畜へは數千卷の佛書を藏するに勝るの價値
あり

發賣所 京橋區加賀町十四番地 國母社

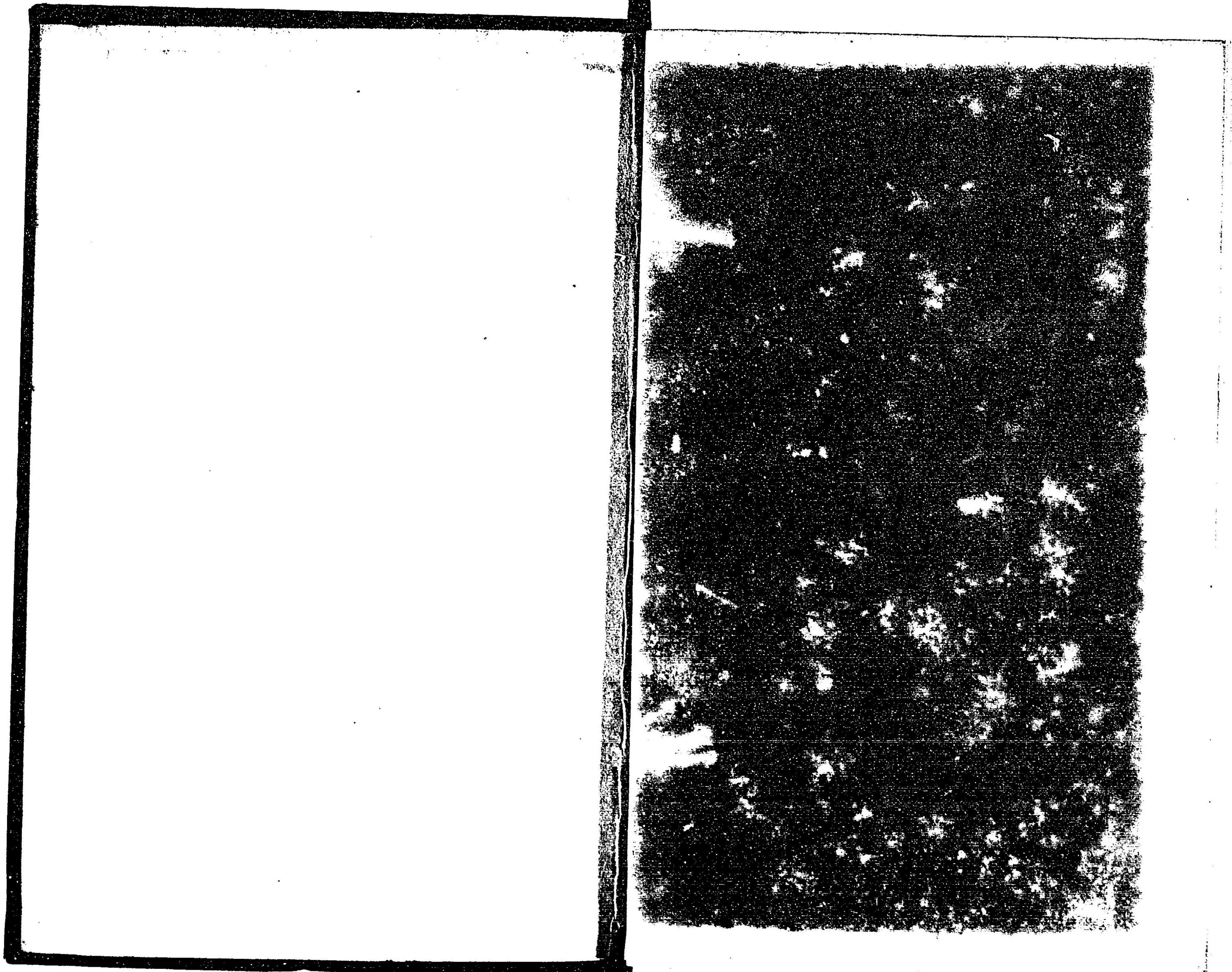
現住永平寺勅賜性海慈船禪師森田悟由大和尚垂示
普勸坐禪儀獅乳

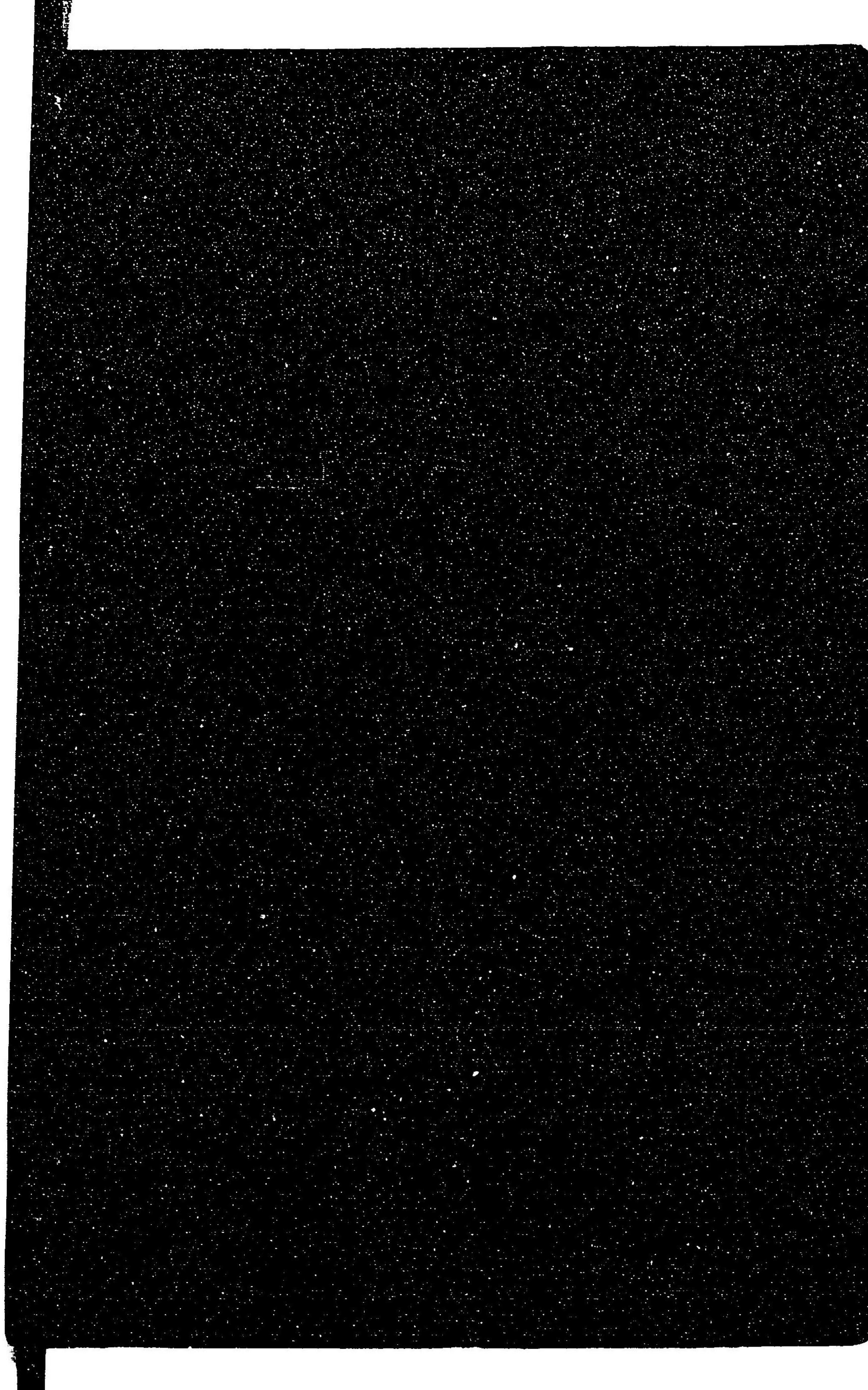
全一冊 定價金十五錢 郵税金四錢
右は永平開山承陽大師の御撰述なる「普勸坐禪儀」
を參學居士等の爲めに提唱せられたる者にて丁寧
親切古來未だ曾て之をあらざるの講辯なり蓋し方今
口耳の間にのみ禪學を弄して全身に祖道を修する
者甚た少なきを慨歎せられ乃ち事の此に出たる者
なれば眞正に禪道の如何を知らんと欲する者は必
らず一讀して而して後に我輩の人を欺かざるを知
りたまへ

前住永平寺勅賜眞晃斷際禪師瀧谷琢宗大和尚纂述
正法眼藏顯開事考

全一冊 定價金八錢 郵税金二錢
右永平開山承陽大師の御撰述なる「正法眼藏」九十
五卷に對する百餘の考證にして此書の未だ校刻せ
ざりし以前の沿革及び其前後に百出せる註疏講釋
等の來歴その作者の傳記等に至るまで詳細に確實
に考證せられたる者なれば凡そ正法眼藏を受持す
る人は必ず之を講求して而して後に冷暖自知するに
任す

發行所 東京京橋區加賀町十四番地 國母社





019518-000-5

特18-954

正法眼藏

兒村 碩鳳 / 編

M29.12

ABG-0246



